**【書式】間接強制申立書（不作為義務の場合）**

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　 　　　　**間接強制申立書**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　収　入　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印　紙　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日　　　　地方裁判所　　　　　　　　　御中　　　　　　　　　　　　　　　債権者代理人弁護士　○　○　○　○　印　　　　　　　　当事者の表示　別紙当事者目録記載のとおり（※省略）　　　　　　　　　　　　　　　　申立ての趣旨１　債務者は、○○（債務名義表示の不作為義務を記載）してはならない。２　本決定送達の日以降、債務者が前項記載の義務に違反し、○○したときは、債務者　は債権者に対し、違反行為をした日１日につき金○○万円の割合による金員を支払え　　　　　　　　　　　　　　　　申立ての理由　債務者は、債権者に対し、下記事件の執行力ある債務名義の正本に基づき、申立ての趣旨第１項のとおりの義務があるにもかかわらず、これに違反するおそれがあり、違反の場合、債権者は損害（別添報告書参照）を被ることとなる。そうすると、支払予告金は、別添報告書記載のとおり、申立ての趣旨第２項の金員とするのが相当であると思料する。　よって、申立ての趣旨記載の裁判を求める。　　　　　　　　　　　　　　　　　　記　○○地方裁判所　平成・令和○○年（ワ）第○○○○号　○○請求事件の判決　　　　　　　　　　　　　　　　添付書類１　執行力のある判決正本　　　　　　１通２　上記送達証明書　　　　　　　　　１通３　損害見積書　　　　　　　　　　　１通 |